

うみがめマリンの大冒険

(12裏)

① ー (マリン誕生)

こんにちは

ぼくの名まえは「マリン」です

ぼくは 大海原をみわたす 白い白い砂浜で生まれました

どこまでも青い海

どこまでも青い空

さわやかな しお風が ふいています

海そうやさかな そして大好きな クラゲをたくさん食べて

大きくなりました

ぼくの海は とってもきれいで きもちいいんだよ



①

② 一（出会い）

（①裏）

夏休みになると まちに住む子どもたちが

ぼくに会いに来てくれました

ぼくたちは まいにちまいにち たのしく遊びました

海にもぐると すばらしい海の生きものと

であうことができます

せなかの子どもたちは

「海はきもちいいなあ」

と よろこんでいました



③ 一（冒険のはじまり）

（②裏）

夏休みも 終わりに近づき 子どもたちが
まちに帰る日になりました
白い白い砂浜から 子どもたちをのせた船が
小さく見えています
船がとおざかるにつれて ぼくは とっても
さびしくなりました
よーし ぼくも追いかけていこう！
マリンは およぎはじめました



④ — (がんばって泳ぐ)

(③裏)

いっしょうけんめい泳いでいくと たくさんの船にであいました

これが コンテナ船か 大きいなあ

こんどは貨物船がきたぞ！

すっごく速い船がきた 客船だな

漁師さんの船もやってきた

こんなに ちかくでみるのは はじめてだ

みんな ぼくの横を追いこしていきます

満天の星空が キラキラと光って ほんとうにきれいだ

子どもたちは いまごろ どんなゆめを見ているんだろう

マリンは 夜になってからも

いっしょうけんめい 泳ぎつづけました



⑤ ー (海がよごれてきた)

(④裏)

そして 太陽がかおを出し

朝がきました

あっ 見えてきた

たくさんの家や工場が 見えてきたぞ

あのあたりが 子供たちが住むまちなんだ

早起きの 子どもたちは もう起きはじめたかな

もう少しだ

でも 水がよごれてきたなあ ゴミもたくさん浮いている

前が見えにくくなってきたよ



⑤

⑥ — (おなかがへった)

(⑤裏)

長い時間泳いだので おなかがへってきた
あっ こんなところにも クラゲがいるんだ
よーし 食べよう
パクッ かみ切れないよ
ゴクッ 何だか 味が無いなあ
マリンは この変なクラゲを
いっぱい食べてしまいました



⑥

⑦ ー (マリンピンチ)

(⑥裏)

もうすぐ子どもたちに見える

マリンがまちを目ざしていっしょうけんめい泳いでいる

そのとき！

ウーッ おなかがいたい 苦しいよー

どうしたんだ おぼれてしまうよ

もうダメだ！

マリンピンチ

ちょうどそのとき 海上保安庁の

じゅんしてい が 通りかかりました

おい、何だか あのかめ おかしいぞ 苦しそうだなあ

あっ おぼれているぞ！



⑧ ー（助けられる）

（⑦裏）

海上保安官のおにいさんが

マリンを助けてくれて 近くの港まで つれていってくれました

ウーッ いたい！ いたい！

おなかが いたい！

ウーッ 苦しいー！

ぼくはどうなるんだ

もう子どもたちに 会うことができないかもしれない

あたりが ぼんやりとしか 見えなくなりました

そして ぼくは 港の ちかくの 病院に

かつぎこまれました



⑨ ー（まちがえて食べた）

（⑧裏）

早く手あてをしないと あぶないぞ

病院の先生も しんぱいそうです

ぼくは すぐに 手じゅつを うけました いたいよー

病院の先生が びっくりして ぼくのおなかを のぞいています

ぼくのおなかからは レジぶくろなどのプラスチックごみが

いっぱい出てきました

そうです ぼくが クラゲとまちがえて おなかいっぱい

食べたのは レジぶくろなどのプラスチックごみだったので

レジぶくろがおなかにつまって

もう少しで 死んでしまうところでした



⑩ — (おねがい)

(⑨裏)

手じゅつがおわって 命びろい
ぼくはしばらく まちの水族館で
すごすことになりました
まいにち たくさんの子どもたちが
ぼくに 会いにきてくれます
ねえ みんな 海が ゴミや油で よごれていると
泳いでいるとき 前がよく見えないんだ
レジぶくろは ぼくの こうぶつの クラゲに
よくにているから まちがえて 食べて 死にそうになったんだ
ぼくだけじゃなく 海の生きものたちは
みんなとっても 困っているんだよ



⑪ — (うみどりたちのこと)

(⑩裏)

ぼくの友だちの うみどりのピー子も
ある日とつぜん 飛べなくなって 苦しんでいたんだ
助けられたピー子のおなかは 小さくくだけた
プラスチックのかけらでいっぱいだったんだ
小さいプラスチックのかけらのことを
マイクロプラスチックというそうなんだ
世界中の海の魚たちも このマイクロプラスチックを
たくさん食べているかもしれないんだって
ぼくや ぼくの友だちが大好きな あの白い砂浜と
きれいな海を 汚さないでね



⑫ — (そしてこれから)

(⑪裏)

そのごぼくは すっかり元気になり 水族館のおじさんや
ぼくに会いに来てくれたみんなのおかげで
生まれこきょうの砂浜に 帰ることができました
ぼくが死にそうになった このまちでは 今
海や川を きれいにする運動が さかんに行われています
そして世界中のひとたちが 海をプラスチックごみで
よごさないような 取り組みを始めました
でもね いつまでも ひとりひとりが 海や川を
たいせつにする 心がけが いちばん大切ですね
ぼく マリンからも お願いします

「未来に残そう青い海！」

